

# 小泉議員が宣誓拒否

市川市議会  
百条委

## 購入の切手、使途尋問

政務活動費をめぐる問題で、市川市議会は9日、議員が大量購入した切手の使途などを調べるため、地方自治法に基づく調査特別委員会(百条委員会)を開き、

調査対象となっている小泉文人議員(創生市川)を証人として呼んだ。

百条委は偽証や証言拒否に罰則が科されるが、小泉氏は「尋問の目的が市川市の議案調査や事務調査と一切関わりなく、法律に定められた百条委としての権限

を逸脱している」など理由を述べて、虚偽の証言をしない宣誓を拒否した。

百条委の調査は、切手が本当に使用されたのか、返信用はがきに切手を貼ったとするアンケートが本当に実施されたのが焦点。尋問では「いつ、どこで、誰が、どのように切手を貼ったのか」や、アンケート印刷代の領収書を発行した小泉氏が経営する有限会社「クアン」の営業実態などに質問が及んだ。

小泉氏は、印刷業務を行ったとされるクアンについて「現在は休眠状態。収入がなく、確定申告はしていない」「印刷は別会社が行った」と説明。実際の印刷代が政務活動費の支給上限を超えていたことを理由に挙げ「クアンの名前で領収書を発行して体裁を整えた」と述べた。これに対し、尋問した委員からは「実体のない領収書を使うこと自体が大きな問題」との指摘が出た。

小泉氏への尋問は、弁護士が補助人として同席し、4時間以上にわたって行われた。